

自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム



約200人が聴講

キックオフシンポジウムを開催

参加メンバーを広く募る

早稲田大学環境総合
研究センター(永田勝
也所長)と、(株)早稲田

環境研究所(小野田弘
士代表取締役)、日本
自動車リサイクル部品

販売団体協議会グリーンポイントクラブ(清水信夫代表)、(株)地球健康クラブ(有賀博之代表取締役)の4社で発足した「自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム」は、現在参加メンバーを広く募っている。

昨年12月10日に早稲田大学小野記念講堂(東京都新宿区)で開催された「自動車アフターマーケット高度化コンソーシアムキックオフシンポジウム」で、コ・ユーザーの育成を目指して「では、これまででの研究成果と発足の趣旨説明を行った。

開会あいさつした(株)早稲田環境研究所の小野田代表取締役は、同社が早稲田大学理工学部機械工学科永田勝也研究室から誕生した経緯を説明。「本日のシンポジウムでは、われ

われがこれまで大学で研究してきたことを皆さんがどのように役立てていくのかを考えていただける機会になれば」と語った。

また、来賓あいさつしたロハス・ビジネス・アライアンスの大和田順子共同代表は、日本の消費者の間ではどのようなエコ意識や行動が始まっているのか、具体例を挙げながら紹介。「CO2をもっと減らしたいと思うているので、是非色々な方法を皆さまで考案してほしい。私は伝える係として皆さまの取り組みを一般の方々に

伝えていきたい」とコンソーシアムへ期待を寄せた。

その後行われたシンポジウムでは、小野田代表取締役と日本自動車リサイクル部品販売団体協議会グリーンポイントクラブの清水代表、(株)地球健康クラブの有賀代表取締役が講演した。

「自動車アフターマーケットに関わるこれまでの研究成果と展望」自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム発足の意義」と題して講演した小野田代表取締役は、自身が准教授を務める早稲

田大学環境総合研究センターでの研究内容や、「自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム」の概要などを説明した。

清水代表は「CO2削減効果の数値化を活用した自動車リサイクル部品の普及促進について」グリーンポイントシステムの本格稼働と今後の展開」をテーマに講演。自動車整備業界でのリサイクルパーツ使用の現状や、普及促進のため早稲田大学環境総合研究センターと共同で立ち上げた「グリーンポイントシステム」の概要などを紹介した。

また「エコ・ユーザー育成に向けて」環境に配慮した地域工場」と題して講演した有賀氏は、経済産業省資源エネルギー庁の研究会として立ち上げた「省エネと」省エネ産業」の展開に関する研究会」でまとめた研究会レポートや中小企業経営者1000人に行ったアンケート結果を説明。併せて、早稲田大学環境総合研究センターと共同で開始した民生部門対象の「CO2の見える化サイ